

新型コロナウイルス感染症対策 地域医療体制整備懇談会に参加

2020.04.17

八王子市は4月15日、本会からの要望に応じて、医療保険部に新型コロナウイルス感染症対策地域医療体制整備チームを発足させました。今後はこのチームが中心に医療崩壊させないための体制を築くこととなりました。そしてそのチーム主催の会合に参加しました。

治療に当たる病院からは、都内全域から搬送されてくる重症者が多すぎて、すでに全ての入院要請には応えられなくなってきていること、そしてこのままでは『命の選別』が現実のものとなるという、悲痛な叫びにも似た現状が伝えられました。また PCR 検査でも陽性と判定される割合が、確実に増えてきていることが報告されました。

新型コロナウイルス感染症はもはや、私たちの町でさえ『遠い世界の珍しい病気』などではありません。『とてもありふれた病気』になりつつあります。私たちみんなが、この『すぐ近くにいる』ウイルスと向き合わなくてはいけない段階に来ています。残念ながら特別なワクチンや治療薬が存在しない今、何よりも自分自身が感染しないための基本的な行動と、もしかしたら自分は既に感染しているかもしれないと想像した上での正しい行動を続けましょう。

(文責：感染症担当 永野 敦)